

平成 28 年度福井県計画に関する 事後評価

**令和 4 年 8 月
福井県**

3. 事業の実施状況

平成28年度福井県計画に規定した事業について、令和3年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【NO. 13】 訪問看護新規就業支援事業	【総事業費】 31,173千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県、福井県看護協会、訪問看護ステーション	
事業の期間	平成28年4月～令和4年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	訪問看護師数は増えているものの、訪問看護の利用者数は、平成24年度の4,000人から令和7年度には6,000人となる見込みであり、利用者増加に対応するため、さらなる訪問看護師の確保が必要である。 【訪問看護師の確保数】 H24:359人 → R3:565人 【必要数(第8期介護保険事業支援計画)】 H29:475人 → R2:586人 → R5:630人	
	アウトカム指標:在宅医療の利用者数の2割増 (H24:4,000人 → R7:6,000人)	
事業の内容(当初計画)	訪問看護分野への看護師の就労を促進するためのトライアル雇用の実施支援	
アウトプット指標(当初の目標値)	トライアル雇用制度を活用する看護師数:15人	
アウトプット指標(達成値)	在宅医療に従事する訪問看護師を増やし、在宅等で患者が安心して療養できる環境を整備することにより、在宅医療の利用者数を増やす。	
事業の有効性・効率性	観察できた 在宅医療利用者数 4,426人(H26) → 6,936人(R3)	
	(1) 事業の有効性 訪問看護に従事する看護師が14名増え、訪問看護の提供体制の強化につながった。 (2) 事業の効率性	

	<p>看護師の人材確保や就職支援を総合的に行う県看護協会へ委託して実施することにより効果的に事業を行うことができた。</p>
その他	<p>(年度別基金活用実績) H28:9,492千円 H30:9,790 R:3:11,891</p>

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No.1 (介護分)】 外国人介護福祉士確保促進事業	【総事業費】 40,000 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	介護福祉士養成校	
事業の期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく生活できる体制の整備に必要となる介護サービスの担い手の確保を図る。 アウトカム指標：令和7年度末までに、介護職員 12,611 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	外国人介護人材の活用を促進するため、留学生受け入れ促進助成金を創設し、県内の介護福祉士養成校へ受け入れた際の学費等の支援を行うことで、外国人介護福祉士の参入促進を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	留学生の受入れ人数 R3：30人	
アウトプット指標（達成値）	留学生の受入れ人数 R3：15人	
事業の有効性・効率性	観察できた 留学生の受入れ人数 R3：15人 （1）事業の有効性 介護人材不足が進むなか、本県の介護福祉士養成校に入学する留学生の学費や学習に係る経費について補助を行うことで、将来増加が見込まれる外国人留学生の先駆けとなる人材を確保することができた。 （2）事業の効率性 各施設がそれぞれで確保・育成する外国人介護福祉士のリーダーを養成校で一括して確保でき、育成できる。	
その他		